



『実業家としての片岡 安 氏を知る』

今回は「関西工学専修学校」の初代校長を務めた片岡 安 氏が実業家として携わった活動や事業を紹介します。

1. さまざまな企業・団体で活躍



片岡 安
昭和21.5.26逝去 71歳

片岡 安氏写真
(日本建築協会HPより転載)

片岡 安は、建築界以外の活動にも積極的に取り組みました。大阪工業会初代理事長のほか、1933（昭和8）年に大阪商工会議所副会頭に就任してからは、産業関係だけでなく税制問題など、さまざまな課題の解決に取り組みました。1940（昭和15）年に**大阪商工会議所会頭、日本商工会議所副会頭**に就任してからは、大阪財界の中心人物として活躍しました。（注1）

このほかにも、日本エレベーター製造、大阪信用組合、都ホテル、栗本鉄工所、日本国際航空工業など多数の団体、企業で役員をつとめました。また、教育界においては官立大阪工業学校（現在の大阪大学工学部）や京都帝

大工学部（現在の京都大学工学部）、関西商工学校（現在の関西大倉中学校・高等学校）などでも講師をつとめました。

さまざまな分野で活躍した片岡 安について、1984（昭和59）年に大阪建築士会から刊行された「近代大阪の建築」の巻頭座談会の部分で、大阪大学名誉教授の宮本又次氏が「片岡さんは非常に偉い人で、片岡・久保田・栗本の3人の実業家が大坂工業会をつくって、大阪商業会議所に対抗した。当時の会議所は船場の商人と銀行家で構成していた。メーカーや業者を入れて大阪工業会を組織し後に、片岡さんは会議所の会頭になり、建築家・土建業者・メーカーの地位を非常に上げた。財界活動に非常に貢献された。片岡さんの威力というのは大阪では非常にあったんじゃないですか。」と語っています。

2. 日本建築協会を創立

日本建築協会は、建築設計事務所、建設業をはじめ建築材料、建築設備、機器メーカー、官公庁・教育機関等建築関係の各分野から参加する幅広い会員の連携協力によって、建築に関する学術、技術、事業の進歩発展を図るとともに建築を通じて広く社会に貢献することを目的としている一般社団法人（現在）です。片岡 安の主唱のもと、関西在住の建築家が相集い 1917（大正6）年

3月に「関西建築協会」として創立。1919(大正8)年1月に現在の名称となり、2017年3月には創立100周年を迎えます。

協会の設立当時、建築界では学卒者が官公庁に就職する以外に、財閥会社への就職や自由なアーキテクトを目指す人々が増加、東京ではなく自由な発展期の大阪で活動しようとする建築家も増加している時期でした。

片岡のほか、本学園の創設理事の一人である池田 ^{みのる} 實(1878~1950)、武田五一など関西の建築界をリードする専門家も創立委員として同協会の創立にかかわっており、片岡 安は同協会の初代理事長(1917~1920)、初代会長(1927~1945)をつとめました。



池田 實氏写真
(日本建築協会HPより転載)

3. 片岡 安が活躍した時代を学ぶ



【写真】大阪産業創造館の地下1階にあります。

「大阪企業家ミュージアム(大阪市中央区)」は、片岡が13代目の会頭をつとめた大阪商工会議所が創立120周年を記念して開設した博物館です。(注2)

館内には、明治以降に大阪で活躍した企業家105人の精神や功績などが3つのブロックに分けて紹介されており、片岡 安も第2ブロック「大衆社会の形成～消費社会の幕開け～」の「都市空間を創造する」というコーナーで取り上げられています。

また、片岡 安と大阪工業会の設立時からコンビを組んでいたと紹介されている栗本鐵工所創業者の栗本勇之助(1875~1948)のコーナーには、片岡 安について「プランの栗本、実行の片岡」であったと紹介されています。

(注1) 片岡 安の経歴等については、「常翔 History No. 5」で紹介しています。

(注2) 「大阪企業家ミュージアム」の開館日、アクセス方法については同館HPでご確認ください。

常翔歴史館では、7月1日(金)~31日(日)まで学園各学校ラグビー部のあゆみを取り上げた企画展・講演会を開催しました。

常設展示室での企画展「学園ラグビーの軌跡をたどって」では、花園での優勝旗、摂大ラグビー部・河瀬監督がテストマッチで交換した海外チームのジャージなどを展示。

特別講演会では、京都産業大学ラグビー部ヘッドコーチの元木由記雄氏(工大高OB、元ラグビー日本代表)が講演したほか、学園各学校ラグビー部監督・コーチが元木氏とパネルトークを行いました。



【写真】パネルディスカッションの様子

元木由記雄氏(工大高OB、元ラグビー日本代表)が講演したほか、学園各学校ラグビー部監督・コーチが元木氏とパネルトークを行いました。

※常翔歴史館は、8月1日(月)~9月13日(火)まで夏期休館いたします。

【参考文献】①日本建築協会ホームページより一部抜粋、
②学園新報 第103号、③大阪工大摂南大学 80年史